



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年10月8日（水） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
防災課	防災企画係	鈴木	内線 2838 直通 058-272-8189 FAX 058-278-2522

※当日の連絡先 鈴木 090-3253-6493

令和7年度ぎふ結のもり防災教育フェアの開催について

県では、日頃から身の回りの災害リスクを意識し、災害時に適切な避難行動がとれるよう、県民総ぐるみで自助、共助の底上げを図る「災害から命を守る岐阜県民運動」を展開しています。

このたび、岐阜県庁前のぎふ結のもりを中心に、「防災教育フェア」を開催しますのでお知らせします。

記

1 日時

令和7年11月8日（土） 10:00～15:30

2 場所

ぎふ結のもり、岐阜県庁（岐阜市藪田南2-1-1）

3 内容及び会場

（1）ぎふ結のもり

- ・防災関係ブース展示
- ・かまどベンチ、マンホールトイレなど防災機能の展示

（2）県庁1階 ミナモホール

I 令和7年度岐阜県防災気象講演会（10:00～12:00）※要事前申込

「データから見る地球温暖化時代の気象災害～私たちがいまできる備えとは～」

- ・講師：吉野 純^{よしの じゅん} 氏 岐阜大学工学部教授（工学部附属応用気象研究センター長）
 - ・応用気象学専門
 - ・過去の気象データに基づいた気象モデルの研究を行っており、地球温暖化や異常気象、それらに備えるために必要な対策について講義いただきます。
- ・定員：200名程度
- ・主催：岐阜地方气象台、共催：岐阜県、岐阜市

下記への電話又はウェブフォームから予約してください。

058-271-4108（岐阜地方气象台 防災グループ（9:00～17:00））

<https://forms.office.com/r/h8TLyZt1zt>



Ⅱ 安全登山・火山防災に係る講演会

①火山学習教室 ～実験で楽しく火山を学ぼう～（13:00～14:00）

- ・講師：酒寄 淳史^{さかより あつし}氏（金沢大学人間社会学域教育名誉教授）
 - ・岩石・鉱物・鉱床学、地質学 専門
 - ・白山火山防災協議会委員、石川県文化財保護審議会委員などを務める。

②山小屋暮らしと登山者（14:30～15:30）

- ・講師：やまと けいこ 氏（北アルプス・薬師沢小屋支配人、イラストレーター）
 - ・著書に『黒部源流山小屋暮らし』『蝸牛登山画帖』『黒部源流 山小屋料理人』（いづれも山と溪谷社）など

※①、②とも事前申込不要。先着300名

①は小中学生向けの実験中心の火山学習プログラムですが、大人も楽しく学べる内容となっています。

（3）ミナモホール前ホワイエ

- ・防災関係機関による展示、ワークショップ

（4）県庁舎北駐車場

- ・地震体験（岐阜県の地震体験車による）
- ・岐阜県のトイレトラックなど防災関係車両の展示

4 参加費 無料

5 備 考

- ・一部のプログラムは荒天時中止になる場合があります。
- ・お車でお越しの場合、県庁駐車場を利用することはできますが、隣接するOKBぎふ清流アリーナにおいてB3リーグ公式戦（岐阜スーパース v s トライフープ岡山、15：00開始）が予定されていることから、駐車場が混雑することが予想されます。可能な限り公共交通機関をご利用ください。

<参考 「ぎふ結のもり」の防災機能について>

- ・災害発生時等の有事の際に備え、ヘリポート、防災井戸、マンホールトイレ、かまどベンチの設備・機能を整備
- ・災害発生時の一時的な避難場所として、岐阜市により指定緊急避難場所に指定

<参考 地震体験車>

トラックの荷台部分に装備された振動台が実際の地震のように振動することで、地震の揺れを体験することが可能。

○体験できる地震

・再現地震【6種類】

関東地震（関東大震災）、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）、新潟中越地震、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、熊本地震、北海道胆振東部地震

・想定地震【8種類】

南海トラフ地震、揖斐川-武儀川断層帯地震、養老-桑名-四日市断層帯地震、長良川上流断層帯地震、屏風山・恵那山及び猿投山断層帯地震、阿寺断層帯地震、跡津川断層帯地震、高山・大原断層帯地震

- 音声ナレーション及び画面テロップを6か国語（日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）の中から選択できます。

地震体験車について（県公式ホームページ）

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/185232.html>



<参考 トイレトラック>

- ・全長6,980mm×全幅2,250mm×全高3,230mm
- ・1台あたり入口単独の洋式水洗トイレ室4室、多機能トイレ室1室（計5室）
- ・各室洗面台、電動換気扇、暖房等を設置
- ・清水・汚物タンク、ソーラー発電システムを備え、断水、停電時でも活動可能
- ・1回の給水で、約1,000回使用可能